



# 秋の全国交通安全運動 実施要綱

## ～ 世界が見ているあなたの交通マナー ～

### 1 目的

本運動は、広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールへの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、県民自身による交通環境の改善に向けた取組を推進することで、交通事故防止の徹底を図ることを目的に、全国一斉に展開されるものです。

### 2 期間

**令和元年 9 月 21 日（土）から同年 9 月 30 日（月）までの10日間**



【一斉行動（早朝または夕刻における街頭啓発）日】

9 月 20 日（金）～ 開始式・出発式（県庁正庁ホール）

9 月 30 日（月）～ 交通事故死ゼロを目指す日

※ 9 月 26 日（木）～ 県警による一斉交通指導取締り

大分は、  
優しいマナーと  
思いやりの運転県。



### 3 運動の重点（裏面参照）

- 子供と高齢者の安全な通行の確保
- 高齢運転者の交通事故防止
- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶 ～ 飲んだらのれん ～



### 4 運動の実施要領

- (1) 連携を密にし、実施計画を策定し、推進体制を確立すること。
- (2) 組織の特性をいかして地域住民が参加しやすいよう創意工夫し、街頭キャンペーン等、諸活動を展開し、又は支援すること。
- (3) マスメディア、インターネット、携帯端末、ポスター、広報車等、各種の媒体を活用した広報啓発活動を活発に展開することで、交通安全意識の高揚を図ること。
- (4) 所属の全職員に対し、本運動の趣旨を周知し、職員自身が交通法令を遵守し、率先して模範的な交通行動を示すよう特段の配慮をすること。
- (5) 各市町村は、地域、家庭、職域、幼稚園・保育所・小学校、高齢者が利用する機会の多い施設等において、民間団体や交通ボランティア等との幅広い連携を図りながら、高齢化が進む交通ボランティアの活性化と若者の交通安全意識の向上を図るための諸活動を展開すること。
- (6) ラグビーワールドカップ2019™日本大会の大分県開催において、来県者が安全・安心に通行できるように、県民の交通マナーアップに配慮した諸活動を展開すること。

### 5 効果評価の実施

運動終了後に、次回以降の運動がより効果的に実施されるよう施策等の検証を実施し、県交通安全推進協議会事務局においてとりまとめを行います。



大分県交通安全推進協議会

事務局：大分県生活環境部生活環境企画課

新歩道でのマナーアップ

大分県 交通安全だより

検索

## 子供と高齢者の安全な通行の確保

交通法令の遵守と横断歩道でのマナーアップを心がけましょう！

子供と高齢者に対して思いやりのある運転をしましょう！

- ★ 次代を担う子供のかげがえのない命を社会全体で守ることが重要です！
- ★ 高齢者の交通事故死者数が依然として多く、その減少が強く求められています！



- 幼児・児童が日常的に移動する経路等の安全確保に努めましょう
- 日常生活を通じて保護者から幼児・児童への交通安全教育を促進しましょう
- 高齢者自身が身体機能の変化を認識し事故にあわないよう心がけましょう
- 高齢歩行者の死亡事故の特徴（道路横断等）等を踏まえた交通安全教育を行いましょう

## 高齢運転者の交通事故防止

サポカーSの普及啓発に努めましょう！

運転免許証自主返納の促進に努めましょう！

- ★ 高齢運転者による重大交通事故が発生しています。



- 高齢運転者の身体機能の変化（視野の低下、筋力の衰え等）が運転に及ぼす影響についての交通安全教育や広報啓発を行いましょう
- 70歳以上のドライバーの高齢者マークの使用促進や、高齢者マーク表示車両への保護義務について周知徹底に努めましょう

## 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止

反射材用品等の着用促進に努めましょう！

自転車安全利用五則を遵守しましょう！

早めのライト点灯とライトアップ走行を励行しましょう！

- ★ 日没時間の急激な早まりとともに、例年、夕暮れ時や夜間には重大事故に繋がるおそれのある交通事故が多発しています。



- 自転車損害賠償責任保険等への加入促進に努めましょう

## 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

- ★ 後部座席シートベルト着用率、チャイルドシート使用率が未だ低調です。

- シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の必要性・効果に関する理解の促進と着用義務の周知徹底に努めましょう



## 飲酒運転の根絶

- ★ 全国的に飲酒運転による悲惨な交通事故が後を絶ちません！

- 飲酒運転を絶対に許さない環境作りの促進と、飲酒運転をさせない運転者教育の推進に努めましょう
- ハンドルキーパー運動の周知徹底や、公共交通機関等の利用促進を図りましょう

